

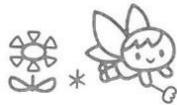
ファミサポだより

なかつ No.2

(発行元) ————
中津市ファミリー・
サポート・センター
三光福祉保健センター内
☎ 27-7715
2021年 3月発行

みなさんこんにちは～！ ファミリー・サポート・センターなかつです。
会員の皆さまには、日頃から活動にご協力頂きありがとうございます！

さて、新型コロナウイルスの影響で延期になっていた、まかせて会員養成講座をようやく開催することが出来ました。そして、無事に13名のまかせてさんに新規会員登録して頂くことが出来ました！°・☆ヽ(°▽°)ノ☆°
養成講座の様子をお伝えしていきますね！



令和2年度 まかせて会員養成講座

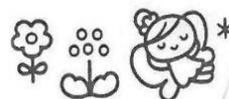


R3.3.3(水) 9:00～14:30 教育福祉センター於

午前中は保健師さんや管理栄養士さんのお話を聞きました。写真は童心館館長の浜田先生の保育の心の講座です。クイズあり発表ありで、とても盛り上がり楽しくお話を聞くことが出来ました!(^^)!



午後からは、救命講習です。日本赤十字社大分県支部の講師の講座と AED の使用方法の勉強をしました。赤ちゃんから大人までの模型を使って詳しく教えて頂きました。



裏面に続く➡



さて、新型コロナウイルス感染症が拡大し、様々な言葉を聞くようになりましたね。
そこで、改めてよく聞くようになった言葉の意味を調べてみました。

フィジカルディスタンス(ソーシャルディスタンス)

今までは、ソーシャルディスタンス(社会的距離)という言葉が広く使われてきましたが、
フィジカルディスタンス(身体的距離)という方が正しいようです。

ソーシャルディスタンスだと社会との繋がりが途絶えてしまい、孤立する恐れがあるので身体的、物理的距離
ということでフィジカルディスタンスという様にしましょうと提言されているみたいです。

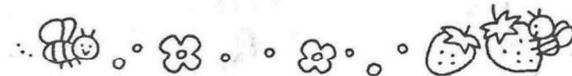
コロナ禍



読み方は「コロナか」と読みます。これもよく目にするようになりましたね。

「禍」は「わざわい」と読み、「コロナが招いた危機的、災厄的な状況をさす言葉」として使われています。
同じ読み方で「災い」は天災など防ぎようがないことが起きた時に使う言葉だそうです。

新しい生活様式



これこそよく聞くようになりましたね。意味は、長期間に渡って感染拡大を防ぐために飛沫感染や接触感染
さらには近距離での会話への対策をこれまで以上に日常生活に定着させ持続させることだそうです。



ファミリー・サポート・センター活動状況(R3.4. 1~3. 31現在)



まかせて会員 88名
おねがい会員 105名

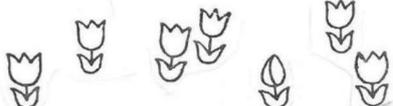
活動詳細	件数
一時預かり	24件
学校・保育園等送り	37件
学校・保育園等迎え	18件
開園等前預かり・送り	10件
迎え・帰宅後預かり	1件

活動件数 90件



◆編集後記◆

もう春ですね~♪ 個人的には春が一番好きです。草木が芽吹き明るくなって、すごくワクワクします。
別れもあるけど出会いの方が多くて希望と期待で胸が高鳴るこの季節。コロナ禍で手放しに浮かれてばかり
もいられませんが、また笑顔で元気に頑張ります！ 本年度もどうぞよろしくお願いいたします。



ファミサポ専用電話
080-8561-015

